（様式1）

学校番号	93	学校名	茨城県立伊奈高等学校	全日・定時

令和6年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県教育目標

校訓

「自立」「協同」「創造」

学校の教育目標

1　主体的に学校生活に取り組み、自らの学校生活を充実させることができる生徒を、家庭や地域と連携して育てる。
2　全ての生徒が一個の人格として尊重され、自己実現・進路希望の充実を図ることができる教育を、家庭や地域と連携して提供する。
3　多様性を尊重し、課題に対して他者と協力して解決を図ることができる生徒を、家庭や地域と連携して育てる。
4　一市民としての意識を持ち、社会に寄与することができる生徒を、家庭や地域と連携して育てる。

生徒の実態

・明朗で、礼儀正しい。
・素直で周囲に対して優しい行動を取れる者が多い。
・自立心にやや欠け、他人の意思に左右されやすい。
・穏やかである安定を望む反面、困難を避ける傾向がある。

保護者の願い

基礎的な学力を身につけ、得意分野に力をつけて欲しい。最後までやり遂げる忍耐力をつけてほしい。大きな声で挨拶ができ、自分の考えや思いを言葉にして欲しい。規則正しい生活をして、心身両面で健康であって欲しい。友人たちと仲良くし、楽しく安心できる学校生活を送って欲しい。

道徳教育重点目標

1　自主自律の精神の下、何事にも主体的に取り組み、責任を果たせる
2　集団の中で他と協力してものごとに取組み、自己の責任を果たせる
3　自他の生命や多様な人格を尊重できる
4　礼儀を重んじ、高校生らしい言動をとれる

地域の実態

市内人口約5万人、転居者と古くからの地域住民が混在している。平地で温暖な気候の農村地帯であるが、首都圏40km以内という地理的条件で徐々に変貌している。特に鉄道沿線では都市化が著しく、地域差が顕著になってきている。

各教科・科目

国語	言語感覚を豊かにし、国語尊重の態度涵養により豊かな人間性の育成を図る。教材を通して、人間としての生き方を考えさせる。
地歴	広い視野に立ち、我が国と外国の地理と歴史に対する理解を深め、国際社会に生きる、民主的で平和的な国民として必要な資質を養う。
公民	互いに人格を尊重し合いながら、社会生活に適応し、向上しようとする態度を育てる。
数学	原理・法則の理解を深め、的確な判断力と粘り強く取り組む態度を育てる。
理科	自然を愛する心と、自然に対する畏敬の念を培い、協力して真理を探究する態度を育てる。
保体	運動を通してルールを守り協力して役割を果たそうとする態度を育てる。保健を通して健康の大切さを知り、健全な生活を求めようとする態度を育てる。
芸術	美しいものを愛する心を育て、美しい環境づくりに努めながら、情操豊かに生活しようとする態度を養う。
外国語	英語の学習を通して、外国の文化・生活・習慣を学び、異文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養う。
家庭	男女が協力し、工夫し合い、人間的で温かく、健康的な家庭を築いていこうとする態度を育てる。
情報	国際社会の中で自己の果たす役割を考える。コンピュータを使って情報の取捨選択をすることを通し、正しい判断力を養う
総合的な探究の時間	地域の人々やつくばみらい市と連携した活動を通して、地域が抱える様々な課題について認識を深め、それに対する取り組みを模索することにより、共同体の一員としての意識を高める。
専門	

特別活動

ホームルーム活動

・月に1回程度、新聞記事などを使い、現実の生の事象をもとにして、人間としての望ましい在り方・生き方について考え、話し合う機会を設定する。

・学校行事、生徒会活動、委員会活動、ホームルーム活動、部活動などを通して、集団への適応を図るとともに、伝統の継承、新しい校風の創造と発展に努める。
・生徒相互及び生徒と教師の触れ合いを密にして、自己理解と相互理解に基づいた望ましい人間関係を育てるとともに、全ての生徒のよりよい人格の発達と形成に努める。
・協力してよりよい生活をめざそうとする、自主的で実践的な態度を養う。

公民科

公共

授業の中で、日本の社会が抱える様々な課題を画像・映像も交えて紹介し、その原因や現代社会における人同士の関わり方、社会での個人のあり方等について、グループの中で議論を行い、より良い社会を築いていくためにどうしたらよいのかを考える。

・社会の課題解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に、社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての自覚などを深める。

生徒指導

・基本的生活習慣を確立し、日常の生活の中で実践していこうとする態度を養う。
・生徒の持つ悩みや問題が解消できるよう、支援していく。
・生徒と教師、生徒相互の人間的触れ合いを醸成できるよう、面談の充実や普段の生活態度の観察を心がける。

家庭との連携

・学年通信等による呼び掛けを随時行い、共通の課題意識を持ちながら、生徒の道徳性を高める。
・さくら連絡網や学校ホームページを通して、学校の話題や様々な連絡事項や学校からのお願い、さらに今まで紙媒体であった広報誌等を積極的に配信し、家庭との連携を密に図る。

地域社会との連携

・伊奈特別支援学校との交流や特養ホーム等でのボランティア、インターンシップや教育月間における学校公開などの機会を通して、地域との連携を図り、道徳的実践力の啓発を図る。
・つくばみらい市主催の交通安全運動への参加、地域の自動車教習所の協力によるバイク実技講習会開催等を通して、交通規則を遵守し、安全を心がけて生活しようとする態度を育成する。
・ホームページ等の情報発信や学校便りの配付を通して、地域社会の方々に本校への信頼を醸成する。